

## 高等学校理科 高等学校 物理基礎 (物基 705)

令和 5 年度用教科書では以下について訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
120	8-10	物質が固体から液体へと状態が変わる温度を融点、液体から気体へと状態が変わる温度を沸点といい、状態が変わるときに分子の熱運動の様子は大きく変わる。	固体が融解し液体になるときの温度を融点、液体が沸騰し気体になるときの温度を沸点という。物質の状態が変わるとき、分子の熱運動の様子は大きく変わる。	融点および沸点についての記述をより正確な表現にするため
195	表1	<u>17.92</u>	<u>16.92</u>	誤記

### ◆周期表の更新のお知らせ◆

ページ	行	令和5年度用
269		<p>(左上の説明文を更新) 最新(<u>2022</u>年)の原子量をもとに (リチウムの原子量を更新) <u>6.94</u><sup>*</sup> (リチウムの原子量の更新に伴って文章を追加)</p> <p>※人為的に<sup>6</sup>Liが抽出され、リチウム同位体比が大きく変動した物質が存在するために、リチウムの原子量は大きな変動幅をもつ。したがって、本表では例外的に3桁の値が与えられている。なお、天然の多くの物質中でのリチウムの原子量は6.94に近い。</p>